



令和4年12月2日（金）いわき翠の杜高等学校保健室発行

12月に入り一層寒さが厳しくなってきました。
夕方にも暗くなる時間が早まり、帰り道が少し寂しく感じるようになりました。

一年で、最も昼が短く夜が長くなる日を「冬至」と言います。（今年は12月22日（木））日照時間も短くなるため気温がぐっと下がってくる頃です。

特に用事のない時は、早めに帰宅しましょう。また上着などで調節し温かくして寒さを乗り切りましょう。



今月の今日は何の日

12月1日は「世界エイズデー」で、世界で広がるエイズの防止と感染者に対する差別や偏見をなくすために、1988年にWHO（世界保健機関）が制定しました。

年間の新規HIV感染者数は1997年の290万人をピークに減少し、2018年は170万人と推定されています。

現在はマスクなどで新型コロナウイルス感染症の報道が多くなされていて、エイズについて報道されることはほとんどなくなり、私たちの間でも話題となる事が少なくなっていますが、まだまだ、予断が許さない状況でいつまた、急激な感染拡大が引き起こされる可能性があります。注意が必要です。

薬やワクチンなど治療薬も進歩しています。

1987年に世界初の抗HIV薬が米国で開発、承認され「多剤併用療法」が標準治療となっています。

2022年には、1～2か月に1度の投与でよい注射薬が日本でも承認されていて治療の効果が上がってきています。しかし今日、色々な性感染症が若い人の間で増えてきています。

感染経路は主に、性的接触、血液媒介、母子感染です。

主な性感染症とその症状

淋病・性器クラミジア感染症	男性・・・排尿痛、尿道不快感、尿道から分泌物等 女性・・・おりものや下腹部に痛みがあるが多くの場合は無症状 男性女性とも不妊症の原因になることがある。 淋病と性器クラミジアは同時感染が多い。
性器ヘルペス・ウイルス感染症	男性女性とも性器に痛みを伴う水疱、潰瘍 女性・・・妊娠、出産で胎児に重篤な合併症を起こすがある。
ヒトパピローマウイルス感染症	女性・・・自覚症状はほとんど無い。一部のウイルスは性器にイボができる尖圭コンジローマの原因となったり、子宮頸がんの原因になったりする。
HIV・エイズ	HIVに感染すると初期には風邪のような症状がみられることがある。自覚症状がないまま徐々に免疫力が低下し感染症などを発症する。
梅毒	感染後3～6週間の潜伏期間を経て、様々な臨床症状（初期硬結、潰瘍、無痛のリンパ節腫張）がみられる、数週間で軽快するも徐々に進行し失明など深刻な障害につながる恐れがある。